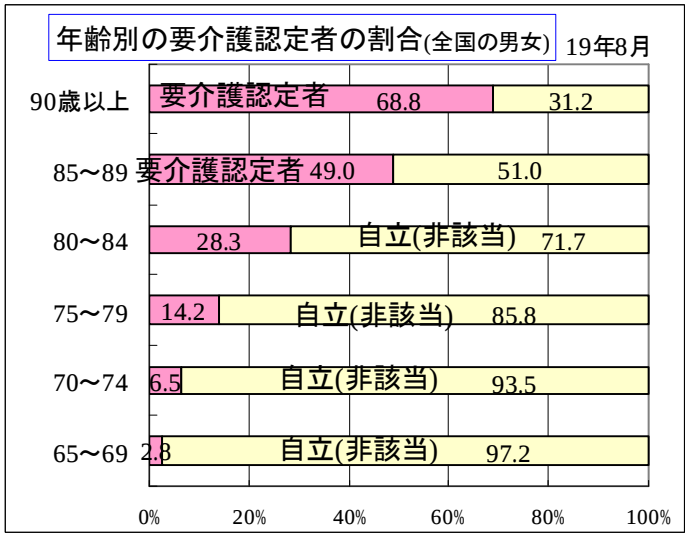
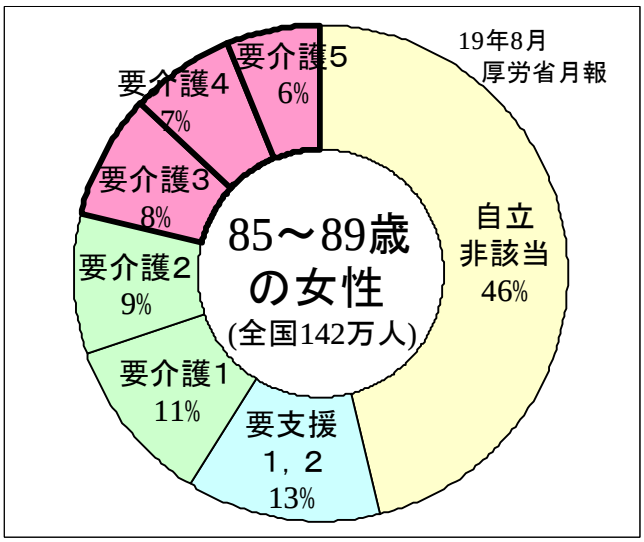
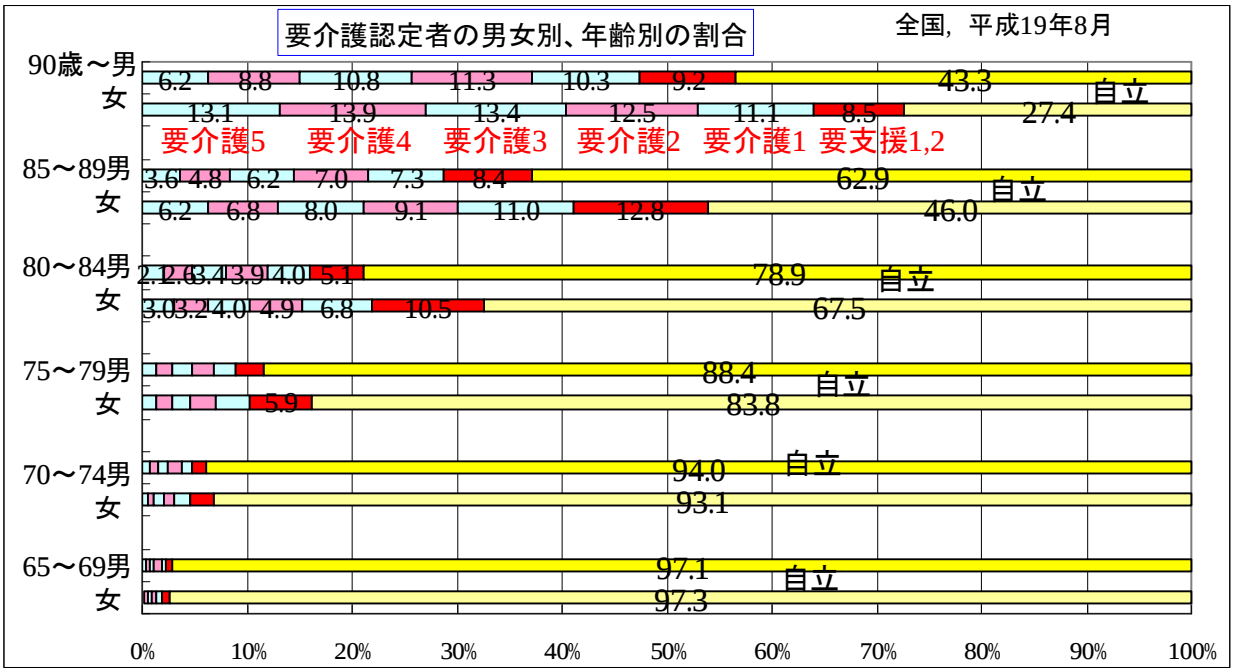
心身の衰えは 80歳代で急速にすすみます

人間誰しも歳をとると共に心身の衰えがすすみ、日常生活に周りの人の介助が必要になります。その度合いを判定するのが介護保険の要介護段階の認定です。身の回りの世話の一部に介護保険の介助が必要になる要支援２から全面介助を必要とする要介護５まで７段階になっています。介助の必要な要介護認定者は７０歳代後半から多くなりはじめ８０歳代前半では２８％、８０歳代後半には４９％とほぼ半数になります。

女性は病に強く男性より長生きしますが、要介護になるのは男性より早いようです。８０歳代後半の男性は３７％ですが円グラフのように女性は５４％という高い比率になり、全的な介助の必要な重い要介護３～５の方は２１％と５人に一人になります。





****

〔追加資料〕　男女の違いが大きい